

令和6年度 能美市立辰口中央小学校 学校経営方針

1 能美市教育委員会学校教育の目標

次世代を切り拓く人材の育成と地域に根ざした学校づくり

2 本校の校訓と教育目標

校 訓

つよい頭 つよい心 つよい体

教育目標

学びに誇りを持ち つながり合ってたくましく生きる児童の育成

3 めざす児童像

- ㊦ まわりと心を通わせる子
- ㊧ しんけんに学ぶ子
- ㊨ じぶんから動き出す子

4 めざす学校像

- ・学ぶ喜びがあふれる学校
- ・児童同士、児童と教師の心が響き合う学校
- ・保護者・地域から信頼される学校

5 めざす教師像

- ・深い愛情 児童に対する愛情をすべての教育活動の基盤とする
- ・高い使命感 未来を担う大切な人材を育てているという責任をもって教育にあたる
- ・豊かな指導力 指導力向上のために互いに自己研鑽に励み、高め合う集団を形成する

6 今年度の重点目標

すべての子どもが「元気に明るく笑顔で登校」できる学校

7 重点目標達成に向けた方策

(1) 組織の力が生きる学校 <課題と重点を共有し、行動のベクトルを一つに>

- ①主任を中心とした各組織がPDC Aサイクルを機能させ、「課題は何か、重点は何か」「まず何から取りかかるか」を常に明確にし、行動のベクトルが一つになる組織を構築する。
- ②危機管理についての意識を高め、安全・安心な学校づくりをすすめる。
- ③業務の効率化・平準化をさらにすすめ、多忙化改善をすすめる。

(2) 確かな学力の向上 <子どもが主体的に学び、目標達成する授業づくり>

- ①明確な目標設定と単元全体を見通す単元計画表の活用をもとに、付けたい資質能力を明確にした授業を行う。
- ②個別最適な学びと協働的な学びの主体的効果的な往還により一体的な充実を図る。
 - ・個に応じた学習材・学習活動を工夫し、課題に向かう個別最適な学びの充実を図る。
 - ・考えを練り上げる協働的な学びの充実を図る。
- ③学力向上ロードマップを軸に、組織が連動した学力向上の取組を推進する。

(3) 支持的風土の醸成された学校・学級 <学校をもっとあたたかく寛容な場に>

- ①生徒指導の4つの視点を生かした教育活動に取り組む
 - ・自己存在感の感受 →「いいね！」がいっぱい。しかけて伸ばして褒める
 - ・共感的な人間関係の育成 →3 ビームで聴く、温かい反応で返す
 - ・自己決定の場の提供 →個別最適な学びや実行委員会制で選択・判断の場
 - ・安全・安心な風土の醸成 →安心安全のためのルール（ベルスタ、廊下歩行）
- ②児童主体の特別活動（児童会活動など）を通して自主性と協働性を養う。
- ③個別対応力・支援体制を高め、不登校・いじめの未然防止・早期対応に努める。

(4) 健康で安全な生活の習慣化 <主体的に健康づくりに取り組む児童の育成>

- ①縄跳びを利用した俊敏性強化を中心に、体力・運動能力の向上を図る。
- ②家庭や地域と協力してメディア対策に取り組み、心身の健康と安定を図る。
- ③健康・安全に対する関心・意識を高め、自己管理能力を育成する。

(5) 家庭・地域との連携 <地域を生かした教育とふるさと愛の醸成>

- ①学校運営協議会（CS）と連携し、地域を生かした教育の推進を図り、ふるさと愛の醸成に努める。

方策を進めるにあたって

- ☆方策を推進する際の子どもの理由・ねらい・願いの共有を丁寧に行う。
 - ←内発的動機付けを大切にする。必要に応じて個別の目標を設定する。
- ☆ふりかえりで思いや課題を共有し、全体が目標に向かって進む力や雰囲気を作っていく。
- ☆個の負担状況を見取り寄り添い、個別対応（受け皿）を個と一緒に考える。←個別対応力